

学校訪問シリーズ 2 I

由布市立東庄内小学校から学ぶ

学校の教育目標「地域とともに 知識を活用し、認め合い、挑戦する『東っ子』の育成」を達成するため、育成を目指す資質・能力を「対話する力 聴く・訊く・伝える」と定め、学年部会と、チーム（授業改善チーム、教育相談チーム）会議を軸として組織的に取り組まれています。

学年部会→チーム会議→運営委員会→職員会議→実践

学校経営から学ぶ

本校の素晴らしい点は、目指す児童像である「①知識を結びつけ、自分から表現できる子ども ②積極的に挑戦し、責任をもって最後までやり遂げる子ども ③認め合い、失敗を恐れず、あきらめない子ども」を最上位の目標として、学校、家庭、地域がそれぞれのできることを明確にしている点です。特に、学校運営協議会においては、参加された地域やPTAの方が、それぞれの立場や強みを活かした活動計画を作成し、協働的に実践を行っています。そのため、保護者や地域の方の当事者意識も高まり、学校と共に「対話力」を育成するための様々な活動が行われています。

学校経営から学ぶ

特別支援学級では、単元全体の課題を明確にしていることから、子ども達は本時は何をすべきかを理解しており、両クラス共に主体的に学習に取り組んでいました。特に、すみれ学級では、数種類のコンパスを用意することで成功体験を増やす工夫も素晴らしいと思いました。

6年生理科は、実験の仮設の検証方法を考える授業でした。やや難しい課題を既習を生かしながら対話を通して考える姿は、本校が目指す児童像の3点を意識した授業だと思いました。

今後は、指導案の「振り返り」を、教師が願う具体的なゴールの姿を、子どもが表現するような言葉で表すことで、「ねらい」との連動や評価規準がより明確になると思いました。



NO.180 2022年10月 由布市立東庄内小学校
たい わ ちから

対話する力

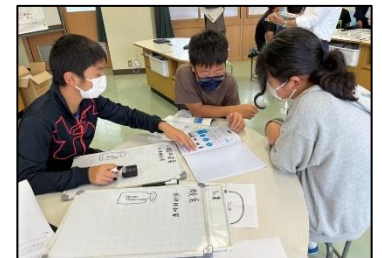
相手の説明を聴く、
質問するために訊く、
そして、思いを伝える。



NO.179 2022年10月 由布市立東庄内小学校
みと あ

認め合う

答えは一つでも、
やり方はいろいろある。
それぞれに良い所がある



NO.181 2022年10月 由布市立東庄内小学校
こん きよめ

根拠を示す

自分の思いだけで、
理由や根拠のない説明は
相手に伝わりにくい。



NO.182 2022年10月 由布市立東庄内小学校
と

やり遂げる

時間いっぱい考える。
最後まであきらめない。



NO.183 2022年10月 由布市立東庄内小学校
ちよう ぜん

挑戦する

車輪にするのだから、きれいな円をつくる。一つ一つ集中しながら頑張る。